

やってみよう

富士川第二小中一貫校 松野学園

学校だより

目指す子供像「夢を語れる子」

学校教育目標「自ら学び ともにみがき合う」

重点目標「やってみよう！」

令和6年4月18日 No.1

令和6年度もご支援よろしくお願い致します

4月5日（金）、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。新任・始業式、そして32名の1年生を迎え入れた入学式を滞りなく執り行うことができました。全校児童生徒数は、438名となりました。新1年生の皆さん、進級された皆さん、おめでとうございます。

入学式は、市内では松野学園にしかできない、9年生が新1年生をエスコートする入場を今年も実施しました。ペア作りの際、新1年生の緊張を和らげようと、声掛けを工夫したり、会場で着席する1年生に笑顔で手を振ったりなど、見ている私たちも幸せな気持ちになる式となりました。また、1年生から9年生までの生活や学習のつながりを改めて意識できたのと同時に、今年度も施設一体型小中一貫校の強みを生かした教育活動を進めていこうという意欲も高まりました。

開校3年目を迎えた本校の目指す子供像、学校教育目標、重点目標は上述の通り昨年度と変更はありません。しかし、年を経るごとに確実に進化を遂げてきました。その姿は、中等部へ進級した5年生の立志式での姿にも表れていました。自ら会場のレイアウトを考え、心の底から考え紡ぎ出した立志の言葉を一人一人が堂々発表しました。聞いてくれる相手に伝えたいという気持ちは、全員合唱にも表れていました。まさに「夢を語れる子」の姿でした。

本校は市内初の施設一体型小中一貫校ですので、近隣にお手本となる学校を探すのは、簡単ではありません。でも周りとは比べるのではなく、本校の子供たちの良さを十分見取り、子供たちに返していくことを地道に進めていきます。ドイツの哲学者ニーチェの言葉「足下の泉」でも表されているように、私たちが求める物は、私たちの足下、つまり松野学園の子供たちの中にあります。子供たちからたくさんのことを学び、相互に高め合っていきます。

最後に、私たち教職員が安心して新しい試みに挑戦できるのも、保護者の皆様や地域の皆様に温かいご理解・支援をいただいているからと同時に、松野地区に「やってみよう」の精神が脈々と息づいているからだと思います。

今後ともご支援よろしくお願い致します。



笑顔でペア作り（1年生と9年生）